

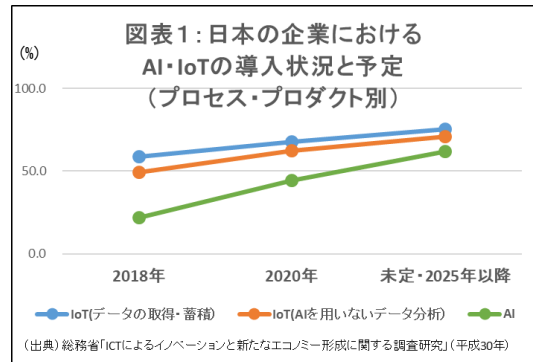
- AI 搭載 IoT 統合エッジウェア 新バージョン「Gravio 3」 -
インストール不要の 自社ブランド Hub (ハードウェア) も提供開始
顔認証技術 や 独自開発ブロックチェーン などの新機能搭載
ラインアップ拡充でエッジウェアの可能性を拡大！ 1,000 ユーザー の獲得へ (2019 年度末・累積)

アステリア株式会社 (旧：インフォテリア株式会社、本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア) は、2018年10月から販売している AI 搭載 IoT 統合エッジウェアの新バージョンとして「Gravio 3」(グラヴィオ3)の提供を8月23日から開始することを発表します。



■AI 搭載 IoT 統合エッジウェア「Gravio」新バージョンの提供を開始する背景

2018年10月から販売している「Gravio」は、極めて低価格(無償貸出センサー付きで月額500円から)で高度なエッジコンピューティングを実現できる手軽さから、現在までに約400ユーザーを獲得しています。また近年、企業におけるIoTの導入意欲はさらに高まっていることから(右図)、Gravioの使い勝手や機能を拡張しながらエッジコンピューティングの需要を喚起していく施策を進めています。

アステリアではこのような市場環境を踏まえて、Gravioの新バージョンにおいて、自社ブランド Hub (Gravio 搭載ハードウェア)の開発に成功。パソコン等がなくても約10cm四方のデバイスを置くだけでGravioが稼働します。また、顔認証技術や自社開発ブロックチェーンによる改ざん不可能な稼働履歴の保存などの新機能も搭載し、エッジコンピューティングの使い勝手を高めることで、普及の拡大を図ります。



<新機能の概要>

①強化された「エッジウェア」	<ul style="list-style-type: none"> ・対応制御機器の拡充(自社版、サードパーティ版) ・独自開発ブロックチェーンによるセキュリティ強化 ・Gravio Coordinator による管理機能の向上
②「顔認証/物体認識 AI」搭載	<ul style="list-style-type: none"> ・Intel®OpenVINO™を利用した顔認証/物体認識 AI を追加 ・エッジコンピューティングで高度な顔認証を実現 
③ハードウェア版提供	<ul style="list-style-type: none"> ・Gravio Hub(Gravio 内蔵ゲートウェイ：自社開発)による簡単設置を実現 ・インストール不要 

■今後の展開

アステリアでは Gravio 新バージョンの提供を通じて、エッジコンピューティングの更なる需要喚起と利用可能性を拡げながら、より一層の顧客開拓を進める計画です。Gravio は現在までに 400 ユーザーを獲得していますが、2020 年 3 月末にはトータル 1,000 ユーザーに拡大することを目標に掲げています。

<Gravio 3 製品ラインアップ>

	Free	Basic	Standard	Enterprise	Enterprise AI Edition Gold	Enterprise AI Edition Platinum
価格 (税別)	¥0	¥500/月	¥20,000/月	¥800,000/年	¥1,200,000/年	¥1,600,000/年
無償貸出センサー	なし	4 個	20 個	100 個	100 個	100 個
Gravio Hub	なし	なし	1 台	4 台	4 台	4 台
管理機能	なし	なし	なし	あり	あり	あり
ブロックチェーン	なし	なし	なし	あり	あり	あり
対応カメラ	USB 1 台	USB、ONVIF 1 台	USB、ONVIF 1 台	USB、ONVIF 各 Hub ごとに 1 台	ONVIF、RTSP 最大 8 台 (専用 PC が必要)	ONVIF、RTSP 最大 8 台 (専用 PC が必要)
ソフトウェア センサー	人物検知 (機能限定版)	人物検知			顔認証 人物検知 車両検知	顔認証 人物検知 車両検知
登録可能顔 ID 数	なし				100ID (最大 1,000ID)	1,000ID (最大 10,000ID)
同時利用 AI モデル	なし				下記より 2 つ (1 つは顔認証必須)	下記より 4 つ 選択可能
学習済 AI モデル	人数カウント、人物の性別、年齢層				顔認証、人物の性別、年齢層 侵入検知、人数カウント 車両の特徴、車両通過カウント	

■AI 搭載 IoT 統合エッジウェア「Gravio」について (Web サイト <https://www.gravio.com/jp/>)

Gravio は、データ連携ツール国内シェア No.1 の「ASTERIA Warp」で培った技術をベースに IoT 向けに進化させ、AI 機能を搭載したエッジコンピューティング型の IoT 統合ソフトウェアです。ノン・プログラミングと直感的な画面設計により、使い勝手の良さを重視。更には AI を活用した認識技術の内蔵とマルチプラットフォーム対応が、インテリジェントエッジとしての活用シーンを飛躍的に拡大。各種認証済みセンサーの無償貸出プログラムもご用意し、導入の際の複雑さを解消。様々なデータの収集、加工、連携もインテリジェントに。簡単かつ迅速な IoT の利活用を実現します。

■「アステリア株式会社」について (Web サイト <https://www.asteria.com/>)

1998 年に国内初の XML 専門ソフトウェア会社として設立されたアステリア株式会社 (2018 年 10 月にインフォテリアから社名変更) は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の「ASTERIA Warp」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 7,977 社 (2019 年 6 月末現在) の企業に導入されています。また、「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,527 件 (2019 年 6 月末現在) の企業や公共機関で採用されています。

<プレスリリース 掲載 URL>

https://www.asteria.com/jp/news/press/2019/08/23_01.php

【プレスリリースに関するお問い合わせ先 (報道機関窓口)】

アステリア株式会社 広報・IR 室：長沼史宏
TEL: 03-5718-1297 / E-mail: press@asteria.com

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 Gravio 事業本部：垂見智真
TEL: 03-5718-1240 / FAX: 03-5718-1261 / E-mail: pm@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook、Gravio はアステリア株式会社の登録商標です。
その他記載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴ等は各社の商標または登録商標です。